



# 造影検査を受けられる方へ

## 造影剤の使用目的

今回、実施する検査では造影剤という検査薬を使用します。造影剤を使用することにより臓器の形が明瞭となり、病変の有無や性質、あるいは広がりなどが鮮明に確認できます。病気の正確な診断や治療の効果を判定したりするための大変有効な薬剤です。

## 造影剤の安全性

造影剤はきわめて安全な薬剤で、腎臓機能が正常であれば、注射後 6時間で約90%が尿として排出され、やがて全てが体外に排出されます。

## 造影剤の投与方法

造影剤は血管(静脈)に穿刺して体内に注入します。その際、体が熱く感じますが正常な反応であり心配ありません。

造影剤が血管外にもれることがあります。通常は時間が経てば吸収されるので心配はありません。もれた量が多い場合には別な処置が必要となることがありますが稀です。

また、穿刺する際に稀ではありますが皮下血腫、神経損傷、血管迷走神経反射等の合併症がおきることがあります。ご経験のある方は検査前にお申し下さい。

## 副作用について

造影剤は安全な薬剤ですが、稀に副作用が起こることもあります。

最近では副作用の少ないものが開発されて用いられていますが、それでも全く危険性をなくすことはできません。軽度な副作用(吐き気、動悸、かゆみ、発疹など)を含めて約3%前後で副作用が生じますが基本的に治療は要しません。しかし、中度・高度の場合 症状に応じて抗アレルギー剤や副腎皮質ステロイドの投与や気管内挿管などの特別な治療を要する場合があります。

また、造影剤の副作用には検査中や直後に生じる即時性のものと、検査終了後、数時間から数日後におきる遅発性のものとがあります。

## お問い合わせ

造影検査や造影剤に関してご不明な点やご質問等ありましたら下記までご連絡ください。

調布東山病院 放射線科 042-481-5537 (直通) 月～土曜日 9:00～16:30